



プロジェクト委員会の成果と 今後の取り組み

副会長 竹内 實

昨年発足した飯塚執行部は、新しい世紀に向けて医師会活動を活性化すべく7つのプロジェクト委員会を設置して、すでにいくつかの成果を上げている。

「介護保険プロジェクト委員会」はすでに本年4月から実施されている介護保険の対応について検討し、きめ細かい提言を行った。これからの介護認定や介護サービス提供に大きく役立つものと思われる。

「救急医療情報システムに関する検討委員会」は、すでに昨年秋より新しくスタートした救急情報システムを前回の轍を踏まないにはどうするべきかを検討し、引き続き今後更にシステムの必要性をどうアピールするかを検討を続けている。

「少子化対策検討委員会」では、取り敢えず少子化を防ぐために医師会が何をすべきかの中間報告を示した。その中では今後の国を挙げての対応に加えて、地域医師会の関わりが示されている。

「健康教育センターの機能に関する検討委員会」は、報告書の中に新しい時代に適合する健康教育センターのあり方を示し、これを受けて平成12年度から従来のセンターを大幅に見直した事業計画が代議員会において承認された。

「総合的医療情報システムの構築に関わるプロジェクト委員会」での検討の成果は、道医会員のインターネット利用者の急増に見られるように着実に現れてきている。

以上5つのプロジェクト委員会は、すでにかんりの成果を上げつつあり、会務運営に良い影響を与えている。残る2つのプロジェクトは新年度に具体化する予定である。その一つは「道医総研」の設立であり、残る一つが最も重大なテーマである「生命と倫理に関する検討委員会」である。

去る4月1日・2日開催された第102回日本医師会定例代議員会において「医の倫理綱領」の決定に関する議案が、満場一致で可決承認された。まさに北海道医師会が取り上げようとしている良いタイミングであった。その内容は別に示すとおりの6つの項目よりなり、それぞれに注釈がつけられている。

昭和26年日本医師会が「医師の倫理」として制定した綱領があり、それが今まで生きていた訳であるが、その内容は50年近い年月を経て現代の医学、医療に必ずしも合っていない部分もあった。その上、その内容や存在自体を知らない会員も多

医の倫理綱領

(前文). 医学および医療は、病める人の治療はもとより、人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす。
2. 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける。
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める。
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす。
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める。
6. 医師は医業にあたって営利を目的としない。

かったと思われる。今回成立した綱領は平成10年8月より10回の「会員の倫理向上に関する検討委員会」において検討を重ねて答申されたものであり、今回の代議員会に設置された特別委員会でも、その内容が高く評価され、今後全国の医師会

で、この内容を広め医師のあるべき姿を求める道標として活用すべきとの意見が多数であった。

北海道医師会に新しく発足する生命と倫理に関する検討委員会でも、今回制定された医の倫理綱領を核として取り組みを進める予定である。

お知らせ

インターネット接続サービスのご案内

北海道医師会情報ネットワークシステム

情報政策部

インターネット接続サービス

北海道医師会では、平成10年6月1日、「北海道医師会情報ネットワークシステム」と称するイントラネットを構築いたしました。

本システムは、インターネットに接続しており、インターネット・サービス・プロバイダ (ISP) と同様に、電話回線で本会に接続することにより、インターネットを利用することができます。

システムの特徴とサービス内容

1. 利用料は無料：費用のご負担はありません。電話料金のみでご利用いただけます。
2. 2つのアクセスポイント

- ①北海道医師会（札幌市）に直接接続するアクセスポイント。
 - ②KDDの「データオンデマンド」を経由して北海道医師会に接続するアクセスポイント。(全国どこからでも1分10円で接続可能)
 3. 会員専用ホームページがあります。
 4. 電子メールアドレスを発行します。
 5. 世界中のホームページへアクセスできます。
- なお、ご利用には登録が必要です。本誌第947号の申込書をご利用下さい。お手元がない場合は、北海道医師会事業第一課 (TEL011 231 1725) 宛ご連絡下さい。

(表紙写真)

老 樹

旭川市医師会 石井 博

東京に旅をし、春の多摩霊園を訪れました。偉大な老樹には桜が満開でした。「老いても花を咲かせることができる」、「桜こそ日本武士の心」、散るときは潔くよく散りたいものと思えます。

老樹と満開の桜が東京には稀に見る青空に映

えて感動しました。私のホームページで老樹の写真を見た老人が、生きがいを感じさせてくれたと感想を聞いたときは私も嬉しかったです。

メールアドレス：Dr HIROSHI@iacnet.ne.jp

ホームページアドレス：http://www.iacnet.ne.jp/~drcchi/